

令和3年度行政事業レビューシート ( 内閣官房 )

<b>事業名</b>	陸自業務システムの整備及び運用（情報通信技術調達等適正・効率化推進費）			<b>担当部局庁</b>	内閣官房副長官補		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	令和3年度	<b>事業終了（予定）年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	情報通信技術（IT）総合戦略室		内閣参事官 吉田 宏平	内閣参事官 奥田 直彦	
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令（具体的な条項も記載）</b>	防衛省設置法第四条第一項第十三号			<b>関係する計画、通知等</b>	平成31年度以降に係る防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画（平成31年度～平成35年度）（平成30年12月18日 国家安全保障会議決定・閣議決定）				
<b>主要政策・施策</b>	IT戦略			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）</b>	陸上自衛隊における効果・効率的な業務基盤を維持するものである。								
<b>事業概要（5行程度以内。別添可）</b>	陸自業務システム本体事業として、システムの整備、設計、ソフトウェアライセンスの取得、業務用電算機の整備・維持するとともに、各機能別業務として整備・維持していた会計業務、援護情報、研究支援、補給管理機能のソフトウェア設定及びデータ移行等を実施するものである。								
<b>実施方法</b>	委託・請負								
<b>予算額・執行額（単位：百万円）</b>	予算の状況	当初予算	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	0		
	執行額	-	-	-	-	-			
	執行率（％）	-	-	-	-	-			
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（％）	#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!				
<b>令和3・4年度予算内訳（単位：百万円）</b>	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	-	-	-						
	計	-	-						
<b>成果目標及び成果実績（アウトカム）</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 3年度	目標最終年度 -年度
	業務の効率性を向上させ、陸自全体の業務を維持する。	陸自業務システムにおいて、本体機能及び各別機能24時間運用可能な状態を保持した日数	成果実績	日数	-	-	-	-	-
			目標値	日数	-	-	-	-	-
			達成度	％	-	-	-	-	-
<b>根拠として用いた統計・データ名（出典）</b>	平成31年度以降に係る防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画（平成31年度～平成35年度）（平成30年12月18日 国家安全保障会議決定・閣議決定）								

政策評価	政策	(防衛省) I-1 我が国自身の防衛体制の強化(領域横断作戦に必要な能力の強化における優先事項)									
	施策	I-1-(3) 持続性・強靱性の強化									
	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度		
		実績値			-	-	-	-	-		
		目標値		-	-	-	-	-			
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
		必要とされる各種活動を継続的に実施するための取組	その他の装備品等の維持・整備(延命処置・機能向上を含む。)		施策の進捗状況(実績)						
	現段階で実績がないため未記載とした。										
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	-										
新経済・財政再生計画との関係	取組事項	分野:									
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	2年度	3年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		
		成果実績									
		目標値									
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 年度	2年度	3年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		
		成果実績									
		目標値									
	本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										
	-										
	事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	国防に資する装備品等の維持整備及び補給は国民や社会のニーズを的確に反映したものである。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国防に関わる事業のため、当該事業は国が自ら実施すべきものである。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	陸上自衛隊の任務遂行のため必要不可欠な事業である。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-							
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			-							
	競争性のない随意契約となったものはないか。			-							
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-							
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-							
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-								

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	所管府省名	事業番号	事業名				
所管府省名	事業番号	事業名						
点検・改善結果	点検結果	-						
	改善の方向性	-						
<b>外部有識者の所見</b>								
点検対象外								
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>								
終了予定	次年度予算計上省庁において、適切な執行に努めるとともに効率的に執行した実績を、概算要求に反映させること。							
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>								
予定終了	デジタル庁(R3.9~)において、引き続き、適切な執行に努める。							
<b>備考</b>								
-								
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>								
令和元年度								
令和2年度								
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。							
	<pre> graph TD     A[内閣官房] -- "〔 予算の移替 〕" --&gt; B[防衛省]     B -- "〔 陸自業務システムの整備及び運用 〕" --&gt; C[民間事業者] </pre>							